

諫早菖蒲の育て方

育て方ポイント

菖蒲園などでは、開花期に水を張っているところがありますが、水生植物ではないので、一年中株が水に浸かっている必要はありません。

日当たりが良く、極端に乾燥しないところであれば、特に場所を選ばず育ちます。

水やり

発蕾から開花中は十分な水を必要とします。乾燥すると花がきれいに開かないので、開いてもすぐにしぼんでしまいます。この時期はたっぷり水をあげてください。

肥料

10月～2月頃までに肥料を（油粕・有機化成肥料など）1株50g～100gほど散布すると良いでしょう。

病気・害虫

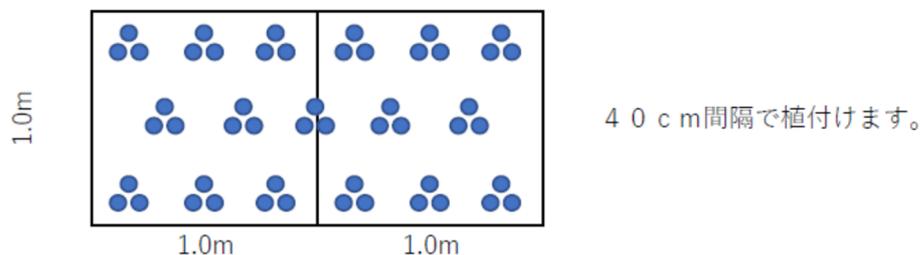
病気：ほとんどしない。

害虫：ヨトウムシ、メイガ

5～6月頃発生し易い。見つけたら捕殺するか、殺虫剤を散布する。

植付け

花壇の場合は、1株当り3芽、9株/m²植付けます。苗が倒れないように株元を押さえてください。元肥として、牛糞堆肥や樹皮堆肥を花壇の土に混ぜて植えると栄養分として取り込みます。



ふやし方

株分け：花が咲き終わった頃に株を分けます。期間は3年に1回行うと良い。

株を3～4等分にショベルなどで割り、新しい植付け場所に植付けてあげると良い。

その他

秋～冬には葉が枯れます。春には新芽が出るのでご心配なく。